



ベストショット



「素敵なプレゼント
ありがとうございました。」

D社では毎年冬季になると、全従業員に対して不要冬服の寄付を募り、企業配属間もない実習生に配布されています。今年は多く女性実習生が集まりましたがD社には女性実習生がおらず、「組合で講習中の女性実習生がいれば配ってあげて欲しい」と声をかけて頂きました。近く配属になる女性実習生が14名いたため、ありがたく頂くことにしました。

持ち帰った服を見て実習生は大喜びでした。じゃんけん順番を決めて、勝った人から好きな服を選んでいきました。コートはあまり持っていませんのでやはり争奪戦になりましたが、各々が好きな服を選ぶことが出来ました。実習生直筆のお礼紙をD社にお送りしたところ、お返事を頂きました。



アインさん
(ベトナム)
2019年12月入国

ふと目に留まった講習中のクラスの写真の中に、ホワイトボードに描かれた素敵な絵を見つけた。3人の実習生が、インターネッットに載っている梅と富士山の写真をしながら描いたもので、その中心となったのがアインさんでした。

子どもの頃から絵を描くことが大好きで、習うことなく自分で練習したそうです。絵具や道具もベトナムから持参したもので、いかに好きなのか伺えます。アインさんのスマートフォンには、自分で描いた絵を撮った写真が多く収められていました。壁に貼られた窓の絵、鉛筆で描いた和服女性、桜と富士山・・・それらを嬉しそうに見せてくれました。

現場中継

ベトナム面接編

D社のベトナム面接に同行しました。実技「ポルトナット試験」で、指示通りに物事を行えるかどうかをチェック。その後の面接を経て2名が合格しました。家族の理解・協力・安心のために、合格者とは必ず「家族面談」を行います。写真撮影の掛け声「モツ・ハイ・バー」のポーズがうまくできない実習生のお父さんと、それを教える社長。お父さん、この社長なら安心ですね！

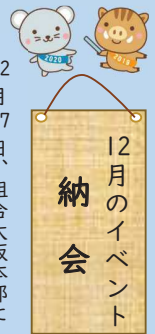


↑組合でお世話になった御礼にと
頂いた2枚のうちの1枚

今は勉強に忙しい、絵を描く時間はあまりないというアインさん。将来の仕事とどうかは決めていないそうですが、その手先の器用さと集中力は、技能実習生として日本で技術を身に付ける上でプラスになりそうです。また作品を見せてください！



うめクラス
ピンターセッション



12月27日、組合大阪本部にて、毎年恒例の納会を実施しました。講習中の実習生、組合スタッフとその家族、総勢百四十名が参加しました。

メインイベントは、実習生にとって初めての体験である餅つき。グループごとに分かれて順番についていきました。手洗いとマスクで衛生対策は万全です。力加減が難しく、勢いあまって餅がまるごと吹っ飛んでいくハプニングにはみんなが大爆笑！ついた餅は組合スタッフ指導のもと丸め、しょうゆ、きな粉、あんこの3種類で美味しく頂きました。

その他、BBQあり、オードブルあり、お菓子ありの楽しく美味しい会で、2019年を終えることができました。2020年も無事過ごせますように・・・



トラブル事例

郵便物を無視すると・・・

実習生Dさんより、電気が止められたとの連絡がありました。コンビニ払いを忘れていたために届いた督促状を、一緒に住んでいる実習生Dさんは見ていませんでした。しかし何なのか分からず捨ててしまいい、また支払いもしなかったため、送電停止となりました。至急サポートスタッフが送電再開の手続きをしました。

電気代等をきちんと支払うことはもちろん、理解できない郵便物があれば、会社の人に確認するよう指導しました。

コラム

挨拶は幸せの源

文：組合サポートスタッフ

O社の一期生として2019年4月に入国した、ふたりのベトナム人実習生。仕事、プライベート、何事にも一生懸命です。

教えてもらったことはきちんとメモして真面目に勉強し、検定試験では好成绩を収めています。プライベートでは、日本人社員を寮に招いて鍋をごちそうしようとしてしまおうというお茶目な一面も持っています。

たくさん魅力を持つ彼らですが、一番は何と言ってもその挨拶！気持ちの良い元気な声と、とびきりステキな笑顔で、周りの人々を幸せにしてくれました。

受け入れ前のO社ではコミュニケーションに関してとても心配されましたが、彼らの挨拶はそんな心配を吹き飛ばしました。会社の中だけでなく、通勤途中の交番にいらるお巡りさんに対しても、必ず挨拶をしているそうです。お巡りさんというだけで、やましくもないのに視線を逸らしてしまう私。彼らを見習って、私も周りを幸せにしたいです。

～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における監理団体です。日本語教育、人間力向上教育、各種サポートは、受け入れ企業様にも好評を頂いております。「外国人技能実習制度を通し日本企業と諸外国の架け橋になりたい」「日本で経験により成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけど・・・」「実習生を見てみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。



Kansai Technical Cooperation Center

協同組合関西技術協力センター 広報課

KTCC 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号

TEL:06-6333-2373 (平日9時～18時) http://www.kansai-gijyutsu.org/



本部外観

発行・お問い合わせ